

環境方針

基本理念

株式会社リストは、「都市を再生させること」の担い手として、廃棄物の処理業を通し、地球環境保全と持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、基本理念の実現を経営の最重要課題として捉え、次の行動指針を定めます。

1. 安全で安心な廃棄物処理を推進し、社会的信頼を得ながら、環境保全の継続的改善に貢献します。
2. 関係する環境関係の法規並びにその他の要求事項を遵守するとともに、地球環境の保全に取り組みます。
3. 事業活動を通じて投入・排出する環境負荷の一層の低減を図って参ります。
4. 一人ひとりの環境保護意識の向上を図るため、教育および社内掲示を通じ、全従業員に対し、環境方針の理解と徹底を行っていきます。
5. 当社環境方針に則り、次の項目を環境保全活動のテーマとして取り組みます。
 - 1) 節電や燃料の有効活用など、省エネルギー・省資源に努め、二酸化炭素の削減と環境負荷を低減。
 - 2) 適切な受入管理と燃焼管理による二次廃棄物の削減。
 - 3) 水使用量及び化学物質の適正管理。
 - 4) グリーン購入への取り組み。
 - 5) 身近な環境保全活動に参加し、地域社会との共生推進。

制定日：平成 24 年 8 月 1 日

代表取締役社長 遠藤 重雄



環境目標及び活動計画

作成日：平成28年5月10日

承認	作成

1. 中期目標

前提：平成27年5月～28年4月の1年間の実績を基準値とする。

期間：平成28年5月から31年4月の3年間とする。

①二酸化炭素排出量の削減

ガソリン及び軽油を除く化石燃料と購入電力の使用量について、廃棄物1トン処理当たりの原単位の削減を目標とする。

削減目標：基準値に対し、平成30年度で△3%（各年度△1%）。

管理項目	単位	基準値*	平成28年度 目標(△1%)	平成29年度 目標(△2%)	平成30年度 目標(△3%)	
購入電力使用量の削減	原単位(kwh/t)	80.8	80.0	79.2	78.4	
化石燃料の削減	A重油使用量	原単位(L/t)	1.00	0.99	0.98	0.97
	都市ガス使用量	原単位(m ³ /t)	1.37	1.36	1.34	1.33
	ガソリン使用量	月平均(L/月)	682	675	668	662
	軽油使用量	月平均(L/月)	6,509	6,444	6,379	6,314

原単位：廃棄物1トン処理当たりの使用エネルギー量

②廃棄物排出量の適正管理

燃えがら及びばいじんの排出量について、廃棄物1トン処理当たりの原単位の削減を目標とする。

削減目標：基準値に対し、平成30年で△3%（各年度△1%）。

管理項目	単位	基準値*	平成28年度 目標(△1%)	平成29年度 目標(△2%)	平成30年度 目標(△3%)
もえがら	原単位(kg/t)	76.7	75.9	75.2	74.4
ばいじん	原単位(kg/t)	162	160	159	157

原単位：廃棄物1トン処理当たりの処理後の燃えがら等の量

③水使用量の適正管理

管理項目	単位	基準値*	平成28年度 目標(△1%)	平成29年度 目標(△2%)	平成30年度 目標(△3%)
上水	月平均(m ³ /月)	63.4	62.8	62.1	60.9

④化学物質の適正管理

- ・使用薬剤（中和剤びキレート剤）の適正管理
- ・関連法規の遵守
- ・PRTR法の遵守：排出量・移動量を算出（第1種指定化学物質の排出量及び移動量の届出）。
- ・東京都化学物質適正管理指針の遵守。

⑤グリーン購入の促進

毎年、1～2アイテムの購入拡大。

2. 平成 28 年度 環境活動計画

管理項目	取組活動項目	具体的な取組内容		
		【総務・営業部門】	【事業部門：受入 G】	【事業部門：焼却 G】
購入電力使用量の削減	1.ピーク電力削減 2.節電（照明・暖冷房・クレーン等）	a.節電意識向上のための表示 b.昼休み等業務時間外の照明の減灯 c.エアコンの温度設定 （夏期 26℃、冬期 23℃） d.外出時のパソコン電源 OFF e.キッチン換気扇の使用時間の減少 f.残業時、不用照明 OFF	a.破砕機空運転の禁止および作業の効率化 b.ヤード内未使用時の消灯 c.照明点灯箇所の低減	a.エアコン温度管理の徹底 （夏期 ℃、冬期 ℃） b.2F フロアー未使用時照明の消灯
化石燃料使用量の削減	【A 重油、都市ガス】 1.リードタイム・ダウンタイムの低減 2.廃棄物の発熱量の平準化		a.焼却物のブレンド徹底し、カロリーの均等化	a.焼却炉立ち上げ時の 昇温時間の短縮 b.バーナー着火時間の短縮 c.焼却物のブレンド徹底し、 カロリーの均等化
	【ガソリン、軽油】 1.アイドリングストップの徹底 2.急発進・急加速の低減 3.「エコドライブ 10 箇条」の遵守	a.急発進・急加速低減による燃費向上 b.休憩時アイドリングストップの徹底 c.法定速度での走行 d.高速道利用低減（八王子～調布間禁止）	【受入・運輸】 a.重機および車両のアイドリング ストップ徹底 b.急発進・急加速・空ふかしの禁止 c.運搬車両の走行ルートの見直し	
廃棄物排出量の適正管理	【一般廃棄物】 1.分別の徹底～資源化			
	【産業廃棄物】 1.選別の徹底、 2.薬剤使用量の適正化		a.焼却物のブレンド徹底し、 カロリーの均等化 b.搬入物の見直し	a.熱灼減量の低減～完全燃焼の維持 b.消石灰送り量の管理徹底
水使用量の適正管理	[上水]節水 [地下水]使用量の把握	a.水道蛇口を節水式に交換	a.流量計の設置による破砕機冷却水の管理 b.水道蛇口を節水式に交換	a.水道蛇口を節水式に交換
化学物質の適正管理	1.ダイオキシン類の基準値の遵守			年 1 回以上測定
グリーン購入の促進	1.環境に配慮した商品を購入	1～2 アイテムの切り替え（事務用品）		